

2019年8月2日

PFI事業向けプロジェクトファイナンスの組成について (和光市広沢複合施設整備・運営事業)

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、和光市が実施するPFI事業（※1）である「和光市広沢複合施設整備・運営事業」について、同事業を受注した【ユニ・アジア】グループが設立した「PFI和光市広沢株式会社」との間で、プロジェクトファイナンス（※2）を組成いたしましたので、お知らせします。

本事業は、和光市が策定した「広沢国有地等利活用基本方針」に基づき、認定こども園、総合児童センター、保育クラブ、市民プール、保健センター及び児童発達支援センターの機能を備えた複合施設として広沢地区の新たな拠点整備を行う企業グループを公募し、ユニ・アジアキャピタルジャパン株式会社を代表企業とするグループが落札したものです。

当行では、今後もPFI事業への支援などを通じて、地域経済の更なる発展に貢献してまいります。

<プロジェクト概要>

事業名	和光市広沢複合施設整備・運営事業
事業対象施設	(東エリア) 広沢学童クラブ及び防災備蓄倉庫 (南エリア) 保健センター (北エリア) 総合児童センター、市民プール及び民間収益施設
受注企業	PFI和光市広沢株式会社
事業参画者	ユニ・アジアキャピタルジャパン株式会社（代表企業）、 株式会社ティップネス、株式会社スーツ、 パートナーズ・ワン株式会社、株式会社浅沼組、 株式会社綜企画設計、東京建物リゾート株式会社
アレンジャー	武蔵野銀行
エージェント	武蔵野銀行
融資契約締結日	2019年7月24日
総事業費	約57億円
融資組成金額	約29億円

※1 PFI(Private Finance Initiative)とは、公共施設等の設計、建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行なう手法。

※2 プロジェクトファイナンスとは、プロジェクト専用の特別目的会社(SPC)を設立し、当該プロジェクトから生み出されるキャッシュフローに着目した融資手法。

以上

報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 渡邊・小山
TEL (048) 641-6111 (代) 内線 2550・2554